



# 小型ドップラーソーダ KPA-300

地上から上空の風向風速分布  
大気の成層状態を観測！

## 観測目的

- ◆ 風況および環境アセスメントに
- ◆ 大気拡散および局地気象観測に
- ◆ 大気境界層の乱流研究に
- ◆ 低層気象の移動観測に



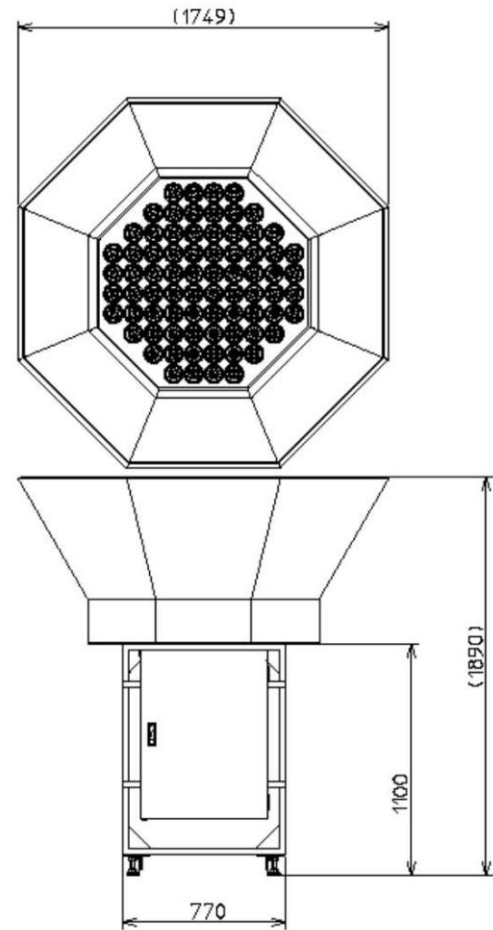
## 特徴

- ◆ 操作性 : 対話式で操作が容易
- ◆ 省スペース : 送受波器下部に送受・制御筐体を設置し、コンパクトに設置が可能
- ◆ 高信頼性 : デジタル伝送、野外観測に強いハードウェアで構成
- ◆ 連続観測 : 無人での連続観測が可能

## 標準機器仕様

- 測定方式 : 3または5方向フェイズドアレイ方式  
(方向選択可能)
- 測定項目 : 高度別平均風速、風向、標準偏差  
高度別鉛直風速、標準偏差  
温度成層ファクシミリ記録
- 信号処理方式 : FFT処理によるドップラーシフト量検知
- 測定対象高度 : 20~500m
- 風速レンジ : 0~30m/s
- 送信周波数 : 2200Hz 標準 (2100~3000 Hz)
- 送信間隔 : 3, 5, 10秒
- 送信出力 : 260W (max)
- 高度分解能 : 20m (送信パルス幅による)
- 風速演算精度 : 水平成分0.3m/s以下または風速の5%  
鉛直成分0.2m/s以下または風速の2%
- 風向演算精度 : 5deg
- 表示分解能 : 水平風速 0.1m/s  
鉛直風速 0.01m/s  
水平風向 1.0deg

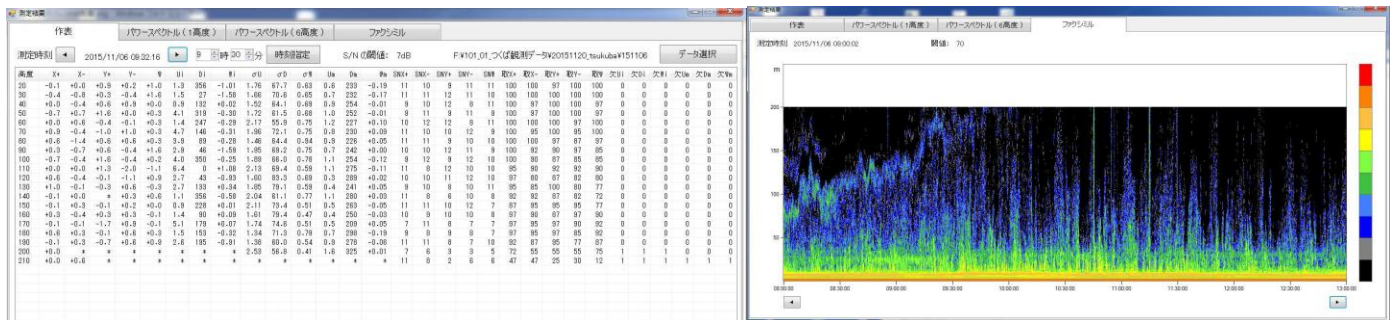
## 外形図



## 構成品目

- ・ 送受波器 : 1式
- ・ 送受信器 : 1式 (屋外筐体に組込み)
- ・ 演算器(PC) : 1式 (屋外筐体に組込み)
- ・ LANケーブル : 1本

## 測定例



- ・ 記載内容は、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。
- ・ ご相談、ご用命の際は、下記の販売グループにお問い合わせ下さい。